

次期医師確保計画における医師少数スポットの設定について（意見照会）

回答票

委員氏名 _____

（１）概要

令和５年度末をもって現行の医師確保計画が終期を迎えることから、国ガイドラインに基づき次期医師確保計画を本年度中に策定することが求められています。

この、次期医師確保計画においては、局所的に医師が少ない地域である「医師少数スポット」の設定を見直すこととされており、新たに国ガイドラインで示された基準に準拠した医師少数スポットの設定について、次期医師確保計画の検討・審議に先立ち御意見をお伺いするものです。

（２）医師少数スポットの設定に係る意見について

医師少数スポットの設定（案）	意見の有無	案に対する回答 （どちらかに○）
○ 津軽地域及び青森地域について、弘前市及び青森市を除く全ての市町村を医師少数スポットとする（案１）。	意見あり ・ 意見なし	案１を妥当とする ・ 案１を妥当としない
○ 津軽地域及び青森地域について、弘前市を除く全ての市町村を医師少数スポットとする（案２）。	意見あり ・ 意見なし	案２を妥当とする ・ 案２を妥当としない

意見ありの場合、下欄に御記入ください。

※弘前大学の地域枠医師については、卒業後９年間の県内勤務の義務が課される期間のうち、４年間は医師少数区域又は医師少数スポット等での勤務が必要となります（参考資料参照）。このため、弘前市や青森市が医師少数スポットから除外された場合、義務期間満了のためには両市以外の医療機関で４年間の勤務が必要となります。なお、５年間（９年間－４年間）を超えて両市の医療機関で勤務している期間は義務年数としての算入を停止することになりますが、直ちに県内勤務義務に違反するものではなく、後年度において両市以外の医療機関で勤務することにより、県内勤務の義務を満了させることが可能です。

【次頁有】

その他、上記の確認事項以外の部分について御質問や御意見があれば、下欄に御記入ください。

--

※いただいた回答は委員氏名を伏せた形でとりまとめ、第1回地域医療対策協議会での資料とする予定です。

(3) 添付資料概略

○別紙1 医師確保計画（現状と課題等）

本県の医師確保に関する現状と課題、医師確保の目標値（国算出）のポイントを記述した資料。
本県の医師数は着実に増加しつつも、相対的に医師数は少ない状況が続いているとしています。

○別紙2-1 二次医療圏毎の医師偏在指標の状況及び医師少数区域

本県及び県内二次医療圏の医師偏在指標及び医師少数区域の状況を示した資料。
本県は医師少数県となっており、二次医療圏単位でも津軽地域及び青森地域を除く4つの二次医療圏が医師少数区域とされています。

○別紙2-2 医師確保計画ガイドライン（医師少数スポット関連部分抜粋）

新たに国が示した医師確保計画策定に向けてのガイドラインの関連部分を抜粋した資料。
今般国から示されたガイドラインでは、新たに以下の内容が追加されています。

- ・医師少数スポットは原則として市町村単位で設定する。
- ・医師少数スポットは二次医療圏全体や医療機関を設定することは適切ではない。
- ・第8次医師確保計画（次期医師確保計画）を策定する際は、これまで設定していた医師少数スポットについて、設定の見直しを行うこと。

○別紙2-3 医師少数スポットの設定パターン

本県における医師少数スポットの設定の仕方として考えられるパターンを示した資料。
案1及び案2として複数の医師少数スポットの設定を図示しています。

○別紙3 医師少数スポット設定の考え方（事務局案）

国から示されたガイドラインを踏まえ、医師少数スポットの設定パターンのうち案1について考え方を整理した資料。

医師少数区域ではない、津軽地域及び青森地域のうち、人口10万対医師数200人を基準として、医師少数スポットとする市町村を区分しています。

医師確保計画（現状と課題等）

現状と課題

- 医師の県内定着に向けては、医師修学資金の貸与による医学生への支援、臨床研修環境の充実・改善を図るための臨床研修医セミナーの開催など、様々な対策に取り組んできたところであり、県内の人口10万対医師数は着実に増加している。
- 一方で、本県の医師偏在指標は全国第46位と低位の状況が続いており、相対的に医師数が少ない状況が続いている。

	人口10万 対医師数 (2016年)	人口10万 対医師数 (2018年)	人口10万 対医師数 (2020年)
全国	240.1	246.7	256.6
青森県	198.2	203.3	212.5

津軽地域	293.1	305.4	325.3
八戸地域	183.0	180.3	192.0
青森地域	211.3	221.0	223.6
西北五地域	122.9	131.8	133.2
上十三地域	124.4	125.1	130.6
下北地域	143.2	138.8	149.9

順位	都道府県名	医師偏在指標
1	東京都	353.9
2	京都府	326.7
3	福岡県	313.3
4	岡山県	299.6
5	沖縄県	292.1

⋮

-	全国	255.6
---	----	-------

⋮

43	茨城県	193.6
44	福島県	190.5
45	新潟県	184.7
46	青森県	184.3
47	岩手県	182.5

施策の方向性等

- 本県は医師少数県に区分されていることから、目標医師数として国から示されている2,972人の医師確保を目標とする（国算出の目標値）。

医師		医療施設従事	目標医師数	必要医師数
偏在指標		医師数(2020年)	(2026年)	(2036年)
184.3	医師少数県	2,633	2,972	3,318

- （施策の方向性については検討中）

● 二次医療圏毎の医師偏在指標の状況及び医師少数区域

ア 県及び二次医療圏毎の医師偏在指標

	医師偏在指標	
全国	255.6	—
青森県	184.3	医師少数県

津軽地域	253.2	医師多数区域
八戸地域	164.4	医師少数区域
青森地域	186.6	(どちらでもない区域)
西北五地域	126.3	医師少数区域
上十三地域	139.6	医師少数区域
下北地域	152.7	医師少数区域

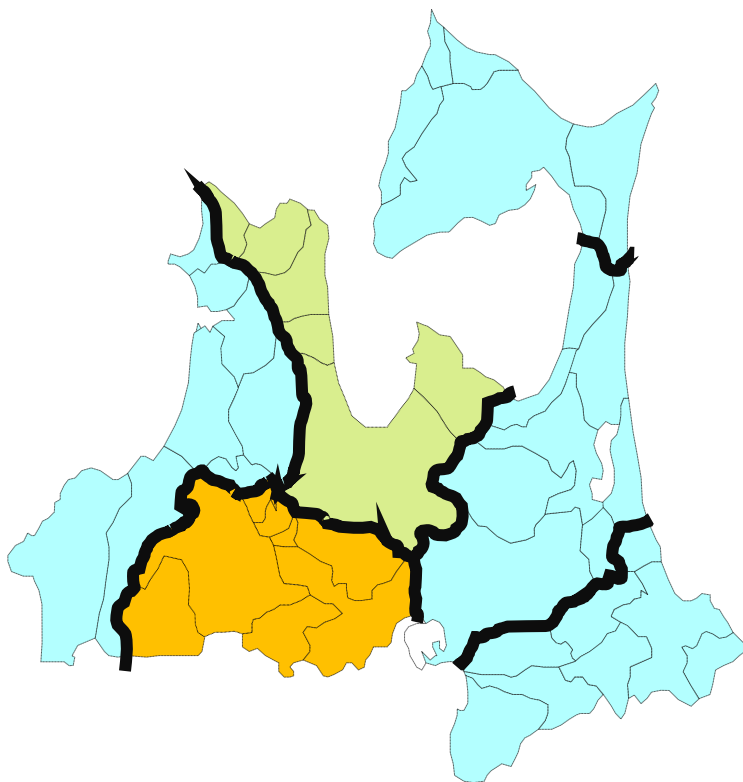
(国提供資料より)

本県の医師偏在指標は 184.3 となっており、医師少数県となっています。

県内の二次医療圏別の医師偏在指標については、津軽地域が 253.2 と医師多数区域とされているほか、青森地域が 186.6 と医師少数区域でも医師多数区域でもない区域とされており、医師少数区域とされているのは、八戸地域、西北五地域、上十三地域、下北地域の 4 地域となっています。

イ 医師少数区域

○医師少数区域 八戸地域、西北五地域、 上十三地域、下北地域
○どちらでもない区域 青森地域
○医師多数区域 津軽地域



医師確保計画策定ガイドライン（医師少数スポット関連部分抜粋）

- 医師確保計画は、二次医療圏ごとに設定された医師少数区域及び医師少数都道府県の医師の確保を重点的に推進するものであるが、実際の医師偏在対策の実施に当たっては、より細かい地域の医療ニーズに応じた対策も必要となる場合がある。このため、都道府県においては、必要に応じて二次医療圏よりも小さい単位の地域での施策を検討することができるものとし、局所的に医師が少ない地域を「医師少数スポット」として定め、医師少数区域と同様に扱うことができるものとする。
- 医師少数スポットは、原則として市区町村単位で設定し、へき地や離島等においては、必要に応じて市区町村よりも小さい地区単位の設定も可能であるものとする。なお、医師少数スポットを設定した場合は、その設定の理由を医師確保計画に明記することとする。
- ただし、医師少数スポットを設定するに当たり、多くの地域が医師少数スポットとして設定され、真に医師の確保が必要な地域において十分な医師が確保できないという状況は改正法の趣旨を没却するものであるため、医師少数スポットの設定は慎重に行う必要がある。そのため、既に巡回診療の取組が行われており、地域の医療ニーズに対して安定して医療が提供されている地域や、病院が存在しない地域などで明らかに必要な医療を他の区域の医療機関でカバーしている場合等、既に当該地域で提供すべき医療に対して必要な数の医師を確保できている地域を医師少数スポットとして設定することは適切ではない。
- また、現在、無医地区・準無医地区として設定されている地域等を無条件に医師少数スポットとして設定することも、同様の理由から適切ではないと考えられ、医師少数スポットはあくまで当該地域の実情に基づいて設定しなければならないものである。一方で、へき地診療所を設置することで無医地区・準無医地区に該当していない地域でも、当該へき地診療所における継続的な医師の確保が困難である場合であって他の地域の医療機関へのアクセスが制限されている地域などについては、必要に応じて医師少数スポットとして設定することが適切であると考えられる。
- なお、医師少数スポットは、局所的に医師が少ない地域を設定するものであるため、二次医療圏全体や医療機関を設定することは適切ではない。
- 第8次（前期）医師確保計画を策定する際は、これまで設定していた医師少数スポットについて、医師確保の状況等を踏まえ、設定の見直しを行うこと。

医師少数スポットの設定パターン

① 青森市及び弘前市以外を医師少数スポットに設定する【案 1】 事務局案

○医師少数区域

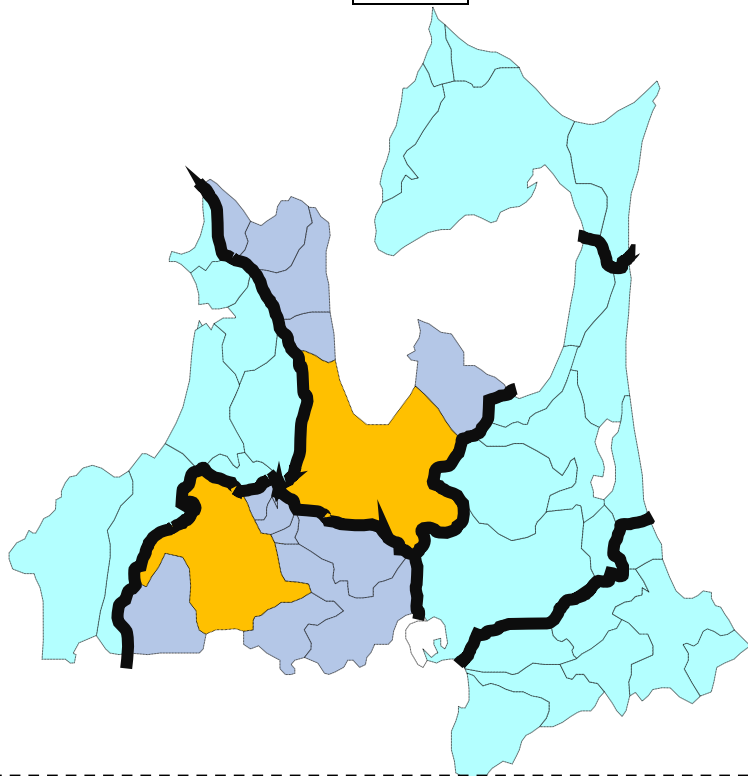
八戸地域、西北五地域、
上十三地域、下北地域

○医師少数スポット

黒石市、平川市、西目屋村、
藤崎町、大鰐町、田舎館村
板柳町
平内町、今別町、蓬田村
外ヶ浜町

○医師少数ではない市町村

弘前市、青森市



○国のガイドラインに沿った医師少数スポットの設定とするもの。

○地域枠医師については、4 年間、弘前市及び青森市以外での勤務が必要。

② 弘前市以外を医師少数スポットに設定する【案 2】

○医師少数区域

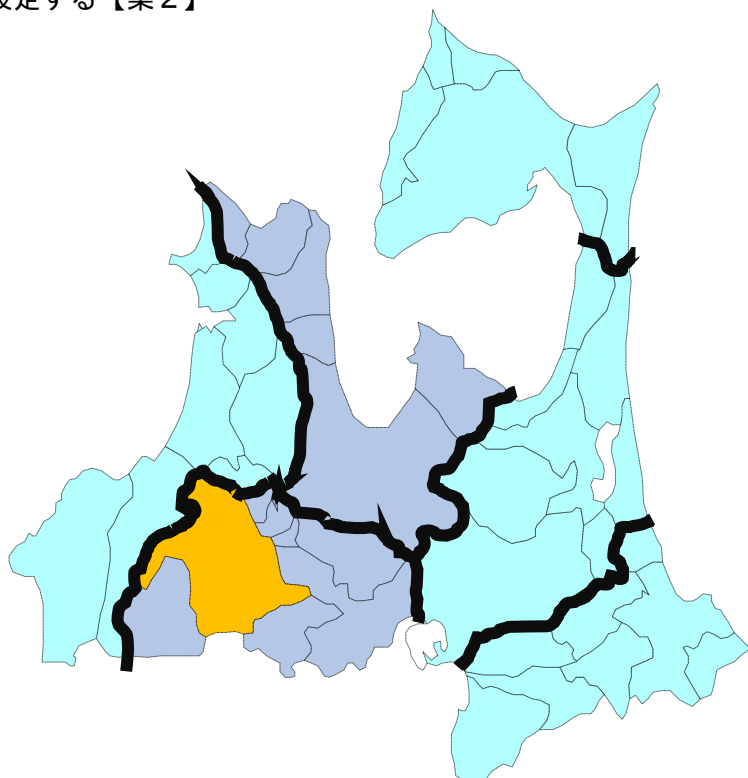
八戸地域、西北五地域、
上十三地域、下北地域

○医師少数スポット

黒石市、平川市、西目屋村、
藤崎町、大鰐町、田舎館村
板柳町
青森市、平内町、今別町、
蓬田村、外ヶ浜町

○医師少数ではない市町村

弘前市



○人口 10 万対医師数のバランス（青森市 233.3 人、八戸市 237.2 人、五所川原市 237.3 人）を考慮し、青森市を医師少数スポットとするもの。

○地域枠医師については、4 年間、弘前市以外での勤務が必要。

● 現在の医師少数スポット【参考】

○医師少数区域

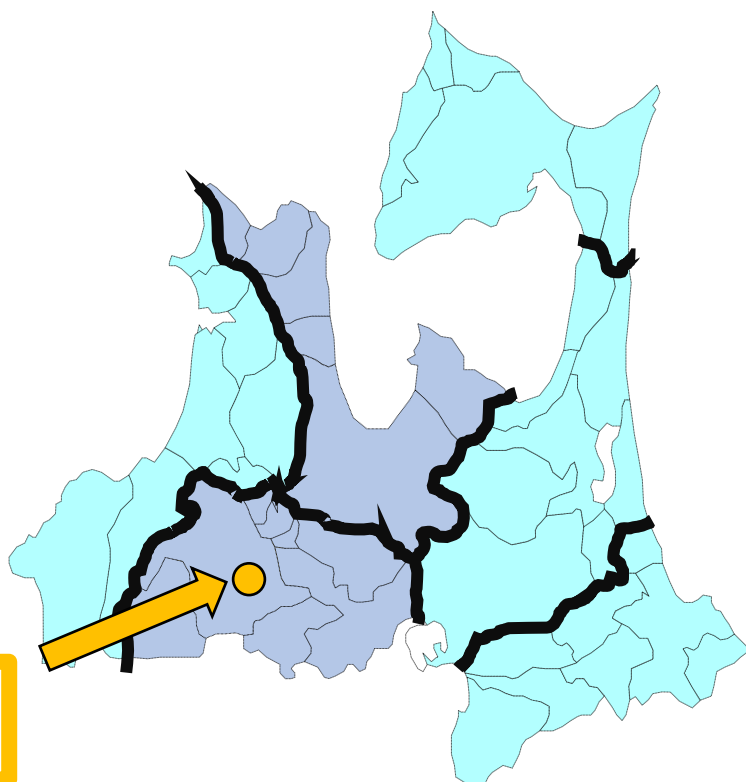
八戸地域、西北五地域、
上十三地域、下北地域

○医師少数スポット

弘前市（弘前大学医学部附属
病院を除く）、黒石市、
平川市、西目屋村、藤崎町、
大鰐町、田舎館村、板柳町
青森市、平内町、今別町、
蓬田村、外ヶ浜町

○医師少数スポットとしない地域

弘前大学医学部附属病院



○国から新たに示されたガイドラインでは、以下の点が不適切とされている。

- ・二次医療圏全体を医師少数スポットとする。
- ・医療機関を医師少数スポットとする。

● 弘前市、八戸市、青森市及び五所川原市以外を医師少数スポットに設定する場合【参考】

○医師少数区域

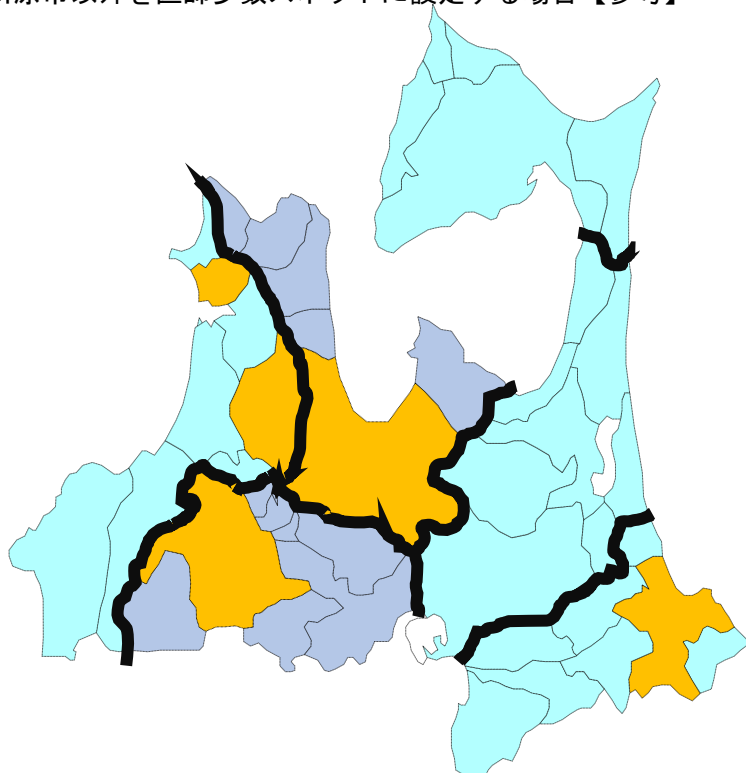
八戸地域、西北五地域、
上十三地域、下北地域

○医師少数スポット

黒石市、平川市、西目屋村、
藤崎町、大鰐町、田舎館村
板柳町
平内町、今別町、蓬田村、
外ヶ浜町

○医師少数としない市町村

弘前市、八戸市、青森市、
五所川原市



○人口 10 万対医師数で 200 人を超える市町村を医師少数としないもの。

○地域枠医師については、4 年間、弘前市、八戸市、青森市、五所川原市以外での勤務が必要。

● 医師少数スポット設定の考え方（事務局案）

医師少数区域の根拠となった医師偏在指標については、市町村別の値が公表されていないため、人口 10 万対医師数で市町村の医師数の状況を比較します。

全国の医師少数区域と医師少数区域ではない区域の分水嶺に注目すると、医師少数区域である栃木県両毛地域（人口 10 万対医師数 196.3 人）と医師少数区域ではない山梨県峡東地域（人口 10 万対医師数 210.6 人）が両区域の境界となっており、人口 10 万対医師数が概ね 200 人を下回る地域は医師少数区域とされていることから、本県の医師少数スポットについては、人口 10 万対医師数が概ね 200 人を下回る市町村を医師少数スポットとします。

なお、医師少数スポットは医師多数区域や医師少数区域ではない地域の中から、局所的に医師が少ない地域を指定するものであり、津軽地域及び青森地域についてのみ医師少数スポットとして指定する市町村の検討を行います。

医師偏在指標及び人口10万対医師数

順位	二次医療圏		指標	人口10万対 医師数（人）
329	青森県	西北五地域	126.3	132.8
311	青森県	上十三地域	139.6	130.4
289	青森県	下北地域	152.7	149.6
259	青森県	八戸地域	164.4	191.8

・
・
・

224	栃木県	両毛地域	179.3	196.3
223	山梨県	峡東地域	179.7	210.6

← 概ね200人が分水嶺

・
・
・

201	青森県	青森地域	186.6	223.3
-----	-----	------	-------	-------

・
・
・

72	青森県	津軽地域	253.2	324.9
----	-----	------	-------	-------



医師少数区域



医師多数区域

● 医師少数区域ではない二次保健医療圏の状況

津軽地域及び青森地域の市町村別の状況を検討すると、弘前市と青森市を除く全ての市町村において、人口 10 万対医師数 200 人を下回っています。このため、弘前市及び青森市を除く市町村については、市町村単位でみれば局所的に医師が少ない地域であるといえることから、「医師少数スポット」として医師少数区域と同様に扱うこととします。

◎ 津軽地域の状況（人口 10 万対医師数）

全国平均 256.6人	R2.10.1人口 (人)	R2.12.31医師数 (人)	人口10万対医師数 (人)
青森県	1,237,984	2,631	212.5
津軽地域	275,508	895	324.9
弘前市	168,466	791	469.5
黒石市	31,946	54	169.0
平川市	30,567	13	42.5
西目屋村	1,265	0	0.0
藤崎町	14,573	18	123.5
大鰐町	8,665	10	115.4
田舎館村	7,326	1	13.7
板柳町	12,700	8	63.0

津軽地域の市町村別の人口 10 万対医師数をみると、弘前市を除くすべての市町村において、人口 10 万対医師数 200 人を下回っています。

◎ 青森地域の状況（人口 10 万対医師数）

全国平均 256.6人	R2.10.1人口 (人)	R2.12.31医師数 (人)	人口10万対医師数 (人)
青森県	1,237,984	2,631	212.5
青森地域	295,593	660	223.3
青森市	275,192	642	233.3
平内町	10,126	7	69.1
今別町	2,334	2	85.7
蓬田村	2,540	1	39.4
外ヶ浜町	5,401	8	148.1

青森地域の市町村別の人口 10 万対医師数をみると、青森市を除くすべての市町村において、人口 10 万対医師数 200 人を下回っています。

【参考】医師少数区域の二次保健医療圏の状況

◎ 八戸地域の状況（人口 10 万対医師数）

全国平均 256.6人	R2.10.1人口 (人)	R2.12.31医師数 (人)	人口10万対医師数 (人)
青森県	1,237,984	2,631	212.5
八戸地域	310,282	595	191.8
八戸市	223,415	530	237.2
おいらせ町	24,273	17	70.0
三戸町	9,082	8	88.1
五戸町	16,042	13	81.0
田子町	4,968	4	80.5
南部町	16,809	19	113.0
階上町	13,496	3	22.2
新郷村	2,197	1	45.5

八戸市は人口 10 万対医師数 200 人を上回っている。

◎ 西北地域の状況（人口 10 万対医師数）

全国平均 256.6人	R2.10.1人口 (人)	R2.12.31医師数 (人)	人口10万対医師数 (人)
青森県	1,237,984	2,631	212.5
西北五地域	120,470	160	132.8
五所川原市	51,415	122	237.3
つがる市	30,934	15	48.5
鯹ヶ沢町	9,044	9	99.5
深浦町	7,346	2	27.2
鶴田町	12,074	8	66.3
中泊町	9,657	4	41.4

五所川原市は人口 10 万対医師数 200 人を上回っている。

◎ 上十三地域の状況（人口 10 万対医師数）

全国平均 256.6人	R2.10.1人口 (人)	R2.12.31医師数 (人)	人口10万対医師数 (人)
青森県	1,237,984	2,631	212.5
上十三地域	167,931	219	130.4
十和田市	60,378	117	193.8
三沢市	39,152	58	148.1
野辺地町	12,374	15	121.2
七戸町	14,556	14	96.2
六戸町	10,447	4	38.3
横浜町	4,229	1	23.6
東北町	16,428	7	42.6
六ヶ所村	10,367	3	28.9

十和田市をはじめ、全ての市町村で人口 10 万対医師数 200 人を下回っている。

◎ 下北地域の状況（人口 10 万対医師数）

全国平均 256.6人	R2.10.1人口 (人)	R2.12.31医師数 (人)	人口10万対医師数 (人)
青森県	1,237,984	2,631	212.5
下北地域	68,200	102	149.6
むつ市	54,103	93	171.9
大間町	4,718	6	127.2
東通村	5,955	2	33.6
風間浦村	1,636	1	61.1
佐井村	1,788	0	0.0

むつ市をはじめ、全ての市町村で人口 10 万対医師数 200 人を下回っている。

都道府県は、医師不足地域における医師の確保と、医師の能力開発・向上の機会の確保の両立を目的として「キャリア形成プログラム」を策定することとされています。

また、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを自ら描けるよう支援することを目的として「キャリア形成卒前支援プラン」を策定することとされています。

<青森県キャリア形成プログラムの適用対象者 ※卒前支援プランは卒業後にプログラムが適用されることとなる学生が適用対象>

- ・弘前大学医師修学資金の貸与を受けた弘前大学地域枠医師（令和2年度以降の入学者に限る）
- ・弘前大学医師修学資金の貸与を受けていない弘前大学地域枠医師（令和4年度以降の入学者に限る）
- ・自治医科大学を卒業した医師（平成31年度以降の入学者に限る）
- ・その他キャリア形成プログラムの適用を希望する医師

<キャリア形成プログラム・キャリア形成卒前支援プランに基づくキャリア形成のイメージ>

